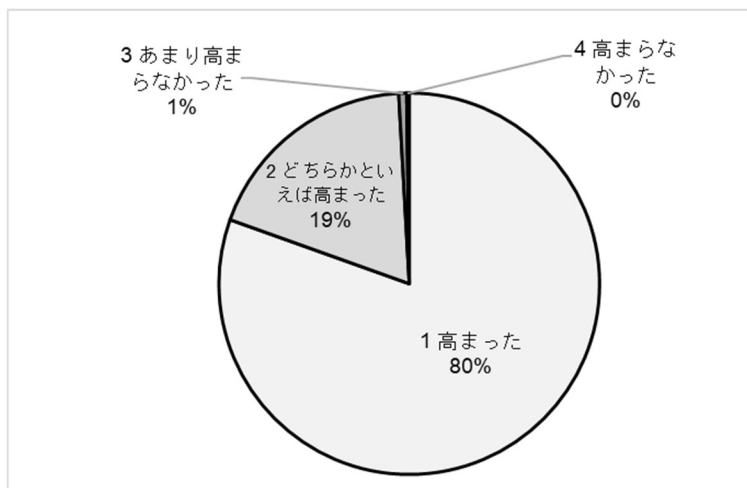


## 体罰防止に係る意識調査の結果について

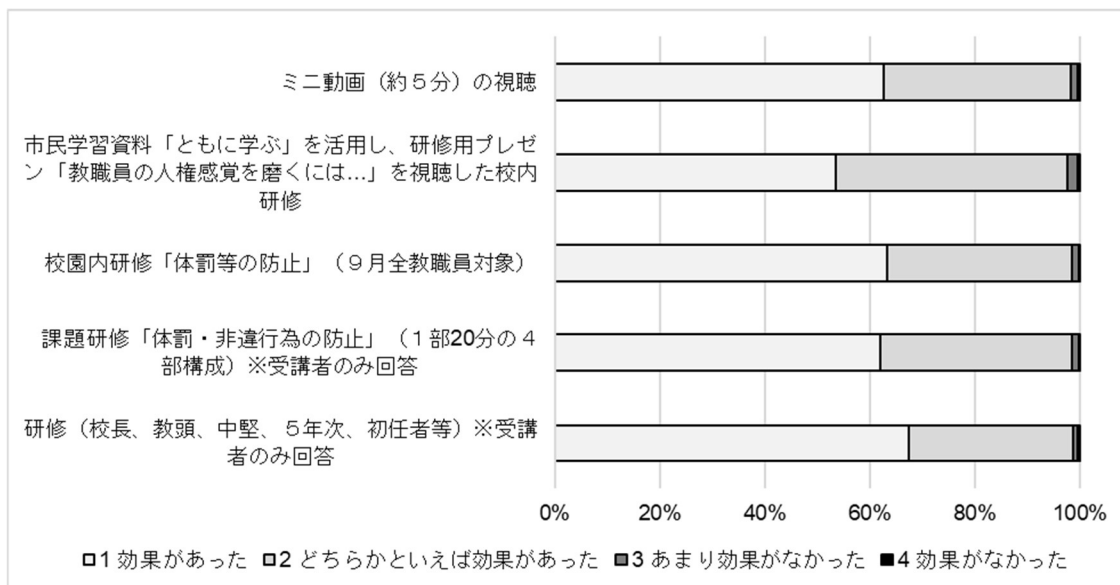
「姫路市体罰のない学校園づくりのための検討会議のまとめ（26の対策）」に基づく取組について、意識調査を行った結果を報告する。

- 1 対象校 全幼、小、中、義務教育、特別支援、高等学校
- 2 対象者 全教職員（回答数 2,808人）
- 3 回答期間 令和5年1月6日（金）～令和5年1月19日（木）

### 1-1 体罰等の防止について、意識は高まりましたか



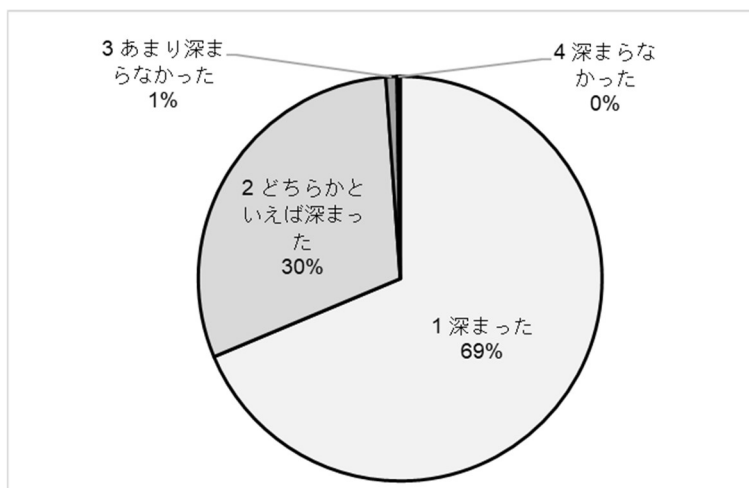
### 1-2 体罰防止等の防止に関する取組の効果について



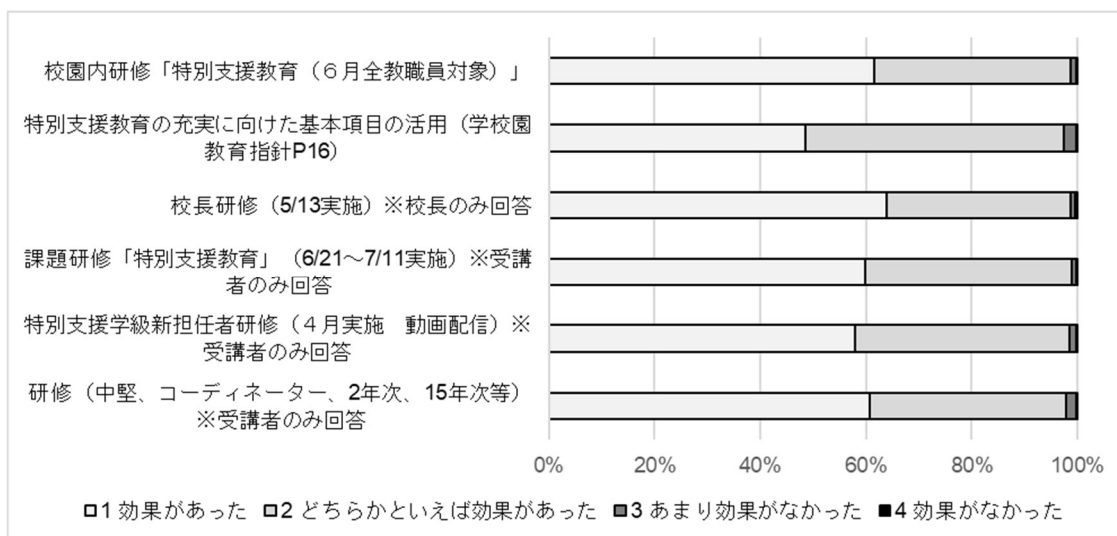
#### 【主な意見】

- ・ 研修動画を視聴したり、グループミーティングを実施することで、体罰は絶対にしてはいけない、また、体罰ととらえる可能性のある行動にも気を付けなければいけない、ということのを再認識することができた。
- ・ 集合研修の実施が難しくても、研修動画やグループ討議、資料配布等を定期的に行うことで、教職員は指導の場面で意識しやすくなった。
- ・ 短時間の研修動画の視聴は効率よく、理解の深まりや意識の高揚には大いに効果があった。
- ・ このような短時間でできる取り組みを年に何度かしていくことは効果的だと感じた。
- ・ 心の油断があると誰でも無意識のうちに相手を傷つけてしまう言動をとることがあるので、繰り返し研修する必要があると感じている。

## 2-1 特別支援教育について、理解は深まりましたか



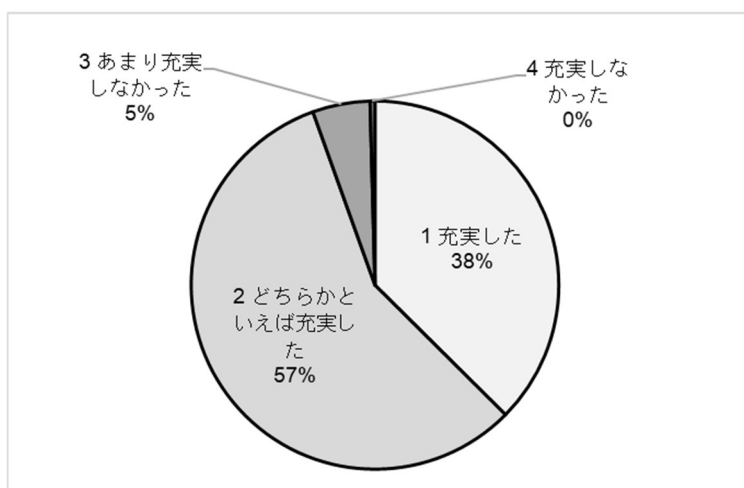
## 2-2 特別支援教育の理解を深める取組の効果について



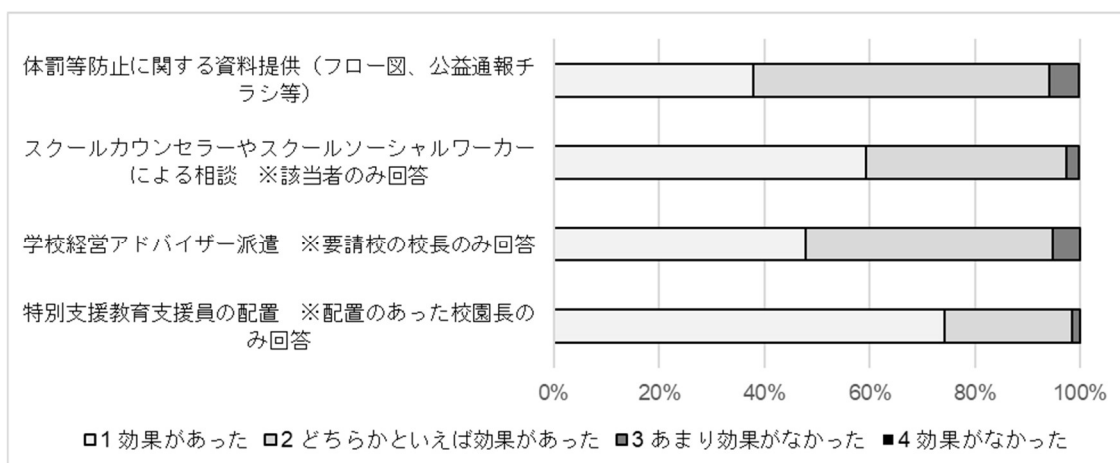
### 【主な意見】

- ・ 常に人権感覚を研ぎ澄ませるとともに、教育の専門家としての意識を持ち続けなければならないと考えています。そのためにも、機会があるたびに、子供の行動には理由や背景があることを考えなければならないと教職員に伝え、私も学び続けています。
- ・ 特別支援教育（特別な支援が必要な児童生徒への関わり方や保護者理解など）の研修が年1回は必要。
- ・ 同じ内容の話でも定期的な研修は自分を振り返る機会となり効果があると感じました。

### 3-1 相談・支援体制は充実しましたか



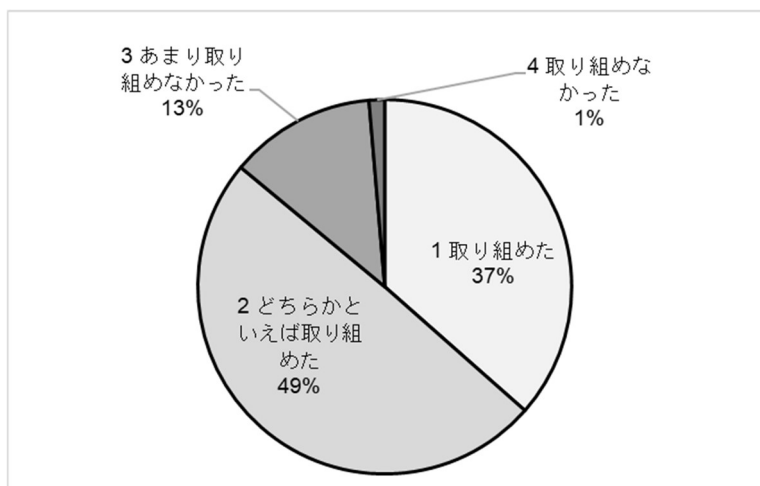
### 3-2 相談・支援体制を充実する取組の効果について



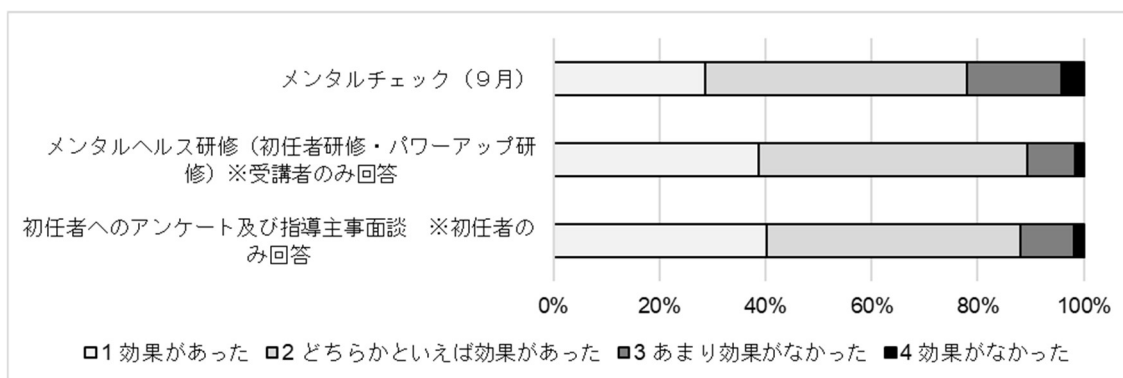
#### 【主な意見】

- ・ 一人で抱え込まず、悩みを全教職員で共有し、解決していこうとする組織作りに取り組んだことが、結果的に体罰を防止することにつながっていると思います。
- ・ コミュニケーション能力、教師の指導力、人間力の向上や他教員との連携が大事だと再確認しました。
- ・ 学年団や管理職に相談したり、複数で対応したりして、冷静に判断し行動できるようにしていきたいと思いました。

#### 4-1 メンタルヘルス（心身の健康）対策について、取り組めましたか



#### 4-2 メンタルヘルス（心身の健康）対策に関する取組の効果について



#### 【主な意見】

- ・ ストレスをためないよう、日頃から学年団でなんでも話し合える雰囲気作りをすることや職員間の協力体制が重要であると思います。
- ・ 心の余裕は時間の余裕から生まれると思いますので、業務改善にも同時に取り組んでいきたい。
- ・ アンガーマネジメントなど自分自身を管理したり、俯瞰したりして冷静に教育できるように心がけていきたいです。